

広島県教育委員会と米日カOUNシルとの連携協定締結について

〔令和3年4月19日〕
高校教育指導課

1 概要

広島叡智学園高等学校の海外等連携協定に基づく入学者選抜における外国人生徒募集に向けて、広島県教育委員会と米日カOUNシルで連携協定を締結した。

2 米日カOUNシルとの連携協定について

(1) 連携協定の概要について

米日カOUNシルが、アメリカにおいて広島叡智学園を積極的にPRするとともに、広島叡智学園への留学を希望する受検生を推薦する。

(2) 連携協定締結式について

ア 日時

令和3年4月9日（金）9:30～10:00

イ 場所

オンラインで実施

ウ 参加者

米日カOUNシル会長兼最高経営責任者、米日カOUNシル-ジャパン事務局長、広島県知事、広島県教育委員会教育長、広島県立広島叡智学園中学校・高等学校長

(3) 米日カOUNシルについて

米日カOUNシルは、日系アメリカ人のリーダーシップのもと、2008年に設立された教育的非営利団体である。

日米関係を強化すべく、国際的なリーダーを育成し、あらゆる世代の日本人とアメリカ人をつなげることを使命としており、次世代のリーダー育成プログラムや日米間の知事をつなぐガバナーズ・サークル等を主催している。

本部は、ワシントンDCにあり、カリフォルニア、ハワイと東京にスタッフを置いている。2012年には、米日カOUNシル-ジャパンが設立され、2013年に公益財団法人に認定された。